



みしま通信

平成27年 春号

発行責任者:公明党 河内長野市議会議員 三島克則

住所:河内長野市高向 838 番地の1

TEL&FAX:0721-52-6158 携帯:090-9709-4611

メールアドレス:m-340@gaia.eonet.ne.jp

ホームページ:<http://komei-mishima.jimdo.com/> または 三島かつのり で検索



平成26年 12月議会 個人質問報告

質問1 奥河内構想の充実について

問 奥河内構想の広域化の促進及び千石谷の具体的活用について。

答弁 広域的な事業として、ダイヤモンドトレールの活用取り組みがあり、発掘、発信している。今後も、他市町村と連携を積極的に進め、市の魅力を対外的に発信し、市外からの来訪者の増加につなげたい。千石谷の具体的活用について、観光的利用拡大について関係機関や林道所有者と協議しながら、可能性や課題について検討したい。

問 高野山開創1200年記念事業とのタイアップは。

答弁 奥河内くろまろの郷の活用を図りながら、多くの方に市の魅力を伝えられるよう検討したい。



質問2 福祉施策について。

問 医療的ケアを必要とする障がい児の支援学校通学バスについて。

答弁 平成24年度より大阪府南河内地区の障がい福祉課等が参加した重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業の連絡会議が開催。平成26年度から、医師会、医療機関等を含むケアコーディネート事業として開催し、障がい児者と介護者の生活支援充実を最重点施策として推進し、取り組まれている。市教育委員会として進学保障の観点から、医療的ケアの必要な児童・生徒とその家族が安心して学校に通えるような方策の実現に向けて、障がい福祉課と連携しながら、大阪府教育委員会、府立支援学校への要望等を続けたい。

問 地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムの策定について。

答弁 現在策定中の本計画の方向性として地域包括支援センターの機能強化、地域ケア会議の推進、認知症高齢者の早期対応、在宅ケア体制の確立に向けた医療・介護連携の推進、また、移送問題や地域課題の発掘とともに地域力の向上をめざす地域における支え合い体制の整備など、施策展開の重点課題として掲げ、市の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めたい。



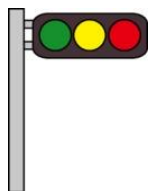
質問3 交通政策について。

問 上原西町の大型家電量販店に隣接する府道大野天野線の信号機のない交差点に信号機の設置について。

答弁 当初、昨年内に完成すると聞いていたが、他の設置工事との兼ね合いから、平成26年度内に完成すると聞いている。

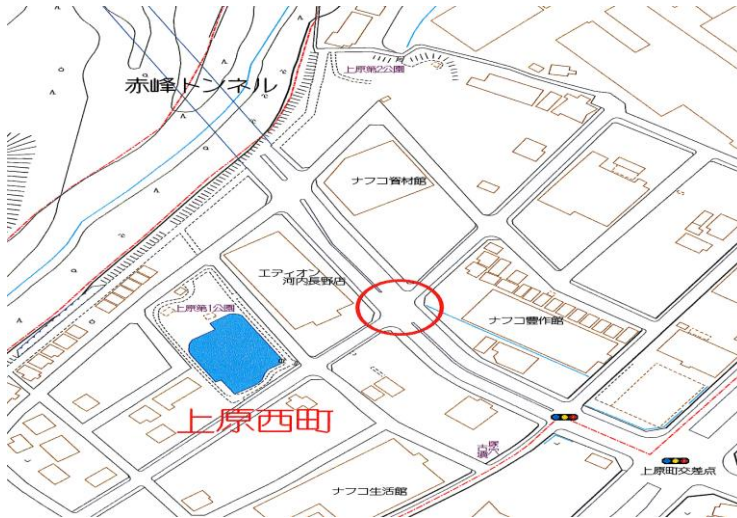
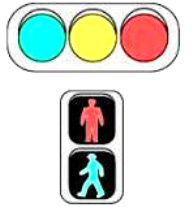
問 そうじん橋を含めた宮の下農道及び市道町井高木線と上久保1号線が交わる交差点の対策について。

答弁 地区外車が流入しないよう、交通抑制を中心に対策を図りたい。



皆さまのお声が「カタチ」となりました！

～上原西町の交差点に信号機を設置～



平成25年11月に、上原西町～消防庁舎前交差点間の約300mが開通となった府道大野天野線。上原西町の大型家電量販店に隣接する交差点（左地図○印）は、信号機もなく道路が開通となりました。

開通以前から、国道170号線（外環状線）と隣接の旧国道170号線の交差点で、朝夕そして土日祝と慢性的に渋滞が発生するため、当該交差点が抜け道として多くの自動車等の車両が利用していました。

また、多くの歩行者が同府道を横断していました。安全の確保をしなければいけないと、決算委員会や予算委員会等で問題提起をし続けました。しかし、安全確保のないまま同府道は開通となり、日を追うごとに交通量も増えるとともに、交通事故が頻繁に発生するようになりました。



信号機設置にむけこれまで、平成25年12月6日に所轄の河内長野警察署長と、道路を管轄する富田林土木事務所所長にそれぞれ要望書を提出するとともに、市議会本会議において3回の個人質問を重ね、早期実現にむけ全力で取り組んで参りました。

この度、平成27年1月30日に当該交差点に信号機が設置されました。これまで、多くの住民の皆さまからお寄せいただいたお声がカタチとなりました。



※近接の上原町交差点と旧国道170号線交差点の信号を合わせています。